



RI 会長テーマ

2022～2023 年度
大船渡西ロータリークラブ会報

七福人

会 長 古内 一 二

副会長 山口 徹

幹 事 今野 義也



= 会長指針 =

お互いを理解しあおう

．．． 例 会 記 録 ．．．

3 月第 2 週例会 2023 年 3 月 9 日 (木)

ソング : 我等の生業 ボックス : 20,000 円 (報告者 熊谷雅也会員)

本日出席率 : 63.89% 前回修正後 88.89% (メークアップ 7 名) (報告者 新沼福三会員)



金比呂正会員に
第 6 回米山功労者マルチプル
感謝状贈呈

★ 会長の時間 : 古内一二



今日は 3 月 4 日に行われた 2520 地区第三分区の IM の報告と 3 月 5 日に行われた盛町の「市神講」について話したいと思います。

まず今回の IM ですが、ホストクラブは花泉 RC で、会場は「花と泉の公園」で開催されました。山口副会長、今野幹事、紀室次期会長、三田地次期幹事、そして私の 5 名で参加してまいりました。内容的には天沼ガバナー参加の元第三分区の 10 クラブの参加で開催され、各クラブの近況並びに活動報告の発表が有りました。各クラブともそれぞれの問題を抱えているようですが、第三分

区のクラブ同士の交流、並びに合同例会の企画を考えているクラブもあり、大変参考になりました。ちなみに当クラブの発表者は今野幹事で大変素晴らしい発表でした、あらためてご苦労様でした。その後は、岩手県一関保健所所長木村博史氏による「最近の新型コロナウイルス感染の現状」というテーマでの講演が有り、会は無事終了し、お弁当を持つての解散となりました。いまだに収まらないコロナ禍のなかでの開催でしたが、あらためて花泉 RC に感謝したいと思います。簡単ですが IM の報告とさせていただきます。

それでは盛町の「市神講」について話したいと思います。盛は昔から商いで栄えてきた町なので、「市神講」というものが有ります。(多分大船渡にはないと思います) これは盛町に住んでいる方でも、神社に携わっていないと、案外知らない方が多いと思います、特に若い方は)「市神講」はそもそも「事代主の神」を祀ったもので自らの繁栄と町の発展を願った講であったようです。盛の市神講は約 200 年前の江戸時代(寛永時代)に盛町の市日における商売繁盛を祈願するためにはじめられたもので、当時の盛町は商店街の真ん中を水路が通っており、下町にあった分水路の中心部に神社が祀られていたそうです。現在は天神山の「宇奈提神社」に祀られております。当時の盛町の市日には盛六郷、気仙はもとより遠野方面などの内陸部の農民も集まって魚などを物々交換する場所として大繁盛したそうです。現在でも毎年 3 月 1 日に近い日曜日(今年は 3 月 5 日)に例祭を執り行い、約 200 年の間 1 回も休むことなく継承されております。そして祭典終了後は保原屋本店に御別火の席を設け、お神酒と蕎麦等を御馳走になりながら、町の問題や商売の取引上のこと、大工や左官、その他の商人の賃金などを、話し合ったと言われております。これは現在では悪くとれば談合とも取れますが、当時はこれで気仙の商道徳を守っていたのではないかと勝手に思っております。そういった意味に於いては、ロータリークラブ起源に、相通ずるものがあるような気がします

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ガバナーエレクト事務所より

地区・研修協議会開催の案内が届いています。

日 時 4月16日(日) 受付・昼食11時～ 開会点鐘12時

場 所 仙台育英学園高等学校宮城野区キャンパス

参加対象者 次年度の会長・副会長・幹事・会計・5大奉仕委員長
米山・R財団各小委員長・新入会員

登 録 料 1人6,000円 締め切 3月31日

2 三陸ブルーラインプロジェクト事業事務局より

「3・11防潮堤にタイルをはろう」セレモニーの案内が届いています。

日時 3月11日(土) 10時～10時30分

場所 夢海公園前 防潮堤付近 雨天時はキャッセンコミュニティースペース

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

青少年奉仕アワー : 高木久子委員長卓話



青少年奉仕委員長くすりのタカギ高木久子です。本日もよろしくお願ひいたします。
今日のこの時間は、大船渡東高等学校のIACの生徒さんに卓話を予定していたのですが、コロナ禍であること、年度末であり期末テスト等々で叶いませんでした。
「IAC」について調べてみました。

世界に友だちを広げながらボランティア精神と国際感覚を身につける。

インターアクトクラブでは、12～18歳の中学・高校生が、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員(通称「インターアクター」と)との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っています。

ロータリークラブの支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、友だちと一緒に楽しみながらロータリーの「超私の奉仕」を学び、行動力を身につけます。

インターアクトでできること: インターアクトクラブはたくさんの可能性にあふれています:

- ・学校や地元地域でボランティア活動をする
- ・異文化について学び、国際親善に貢献する
- ・学校や地元地域でリーダーシップを発揮する
- ・楽しみながら、世界中に友だちをつくる

インターアクトの活動内容

インターアクトクラブは、少なくとも年に2回、プロジェクトを実施します(ひとつは学校または地元地域でのプロジェクト、もうひとつは国際理解を促進するプロジェクト)。インターアクターは、地元ロータリークラブからの指導と支援を受けてプロジェクトを実施し、リーダーシップを養います。

以下の機会にイベントや活動に参加し、インターアクトの活躍を多くの人にアピールしましょう。

- ・世界インターアクト週間
- ・インターアクト・ビデオコンテスト
- ・国連で開かれる「Rotary Youth Day」
- ・世界青少年奉仕デー(Global Youth Service Day)

インターアクトのフェイスブックページで、世界中のIACの活動の様子をご覧ください。

インターアクトクラブ数 14,911 インターアクター数 342,953
インターアクトクラブがある国の数 145

この数字を見て改めて「ロータリークラブ」と「インターアクトクラブ」の重要性を実感しました。
ご清聴ありがとうございました。

東日本大震災13回忌を迎え



多くのロータリークラブ、ロータリアン等のご支援により建立。昨年移設した「愛の鐘」
発生時刻に合わせ点鐘・黙祷
クラブ会員のほかにも沢山の方々が、海へ向かって手を合わせていました。



偶然居合わせた僧侶と共にご供養

北九州から13回忌に合わせお出で下さったとの事。
震災時もトラックいっぱい支援物資を積み陸前高田へ向かっていたが、名古屋で自衛隊に止められ、来ることはかなわなかった。
物資は自衛隊が届けてくれたとの事。